

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	学び - 24	教育情報事業	☐ 法定受託事務
所管課	学びみらい部 教育センター		評価者 教育センター所長 仲井間 善之
一般	会計	款 55	項 5
目 20			
総合計画上の位置付け	分野名	学校教育	施策の方針名 教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等	意図	郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため。
効果	児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	「所報かまくら」の制作・配布、小学校社会科学習資料「かまくら」の印刷・配付、「かまくら子ども風土記」の販売	「所報かまくら」の制作・配布、小学校社会科学習資料「かまくら」の印刷・配付、「かまくら子ども風土記」の販売	「所報かまくら」の制作・配布、小学校社会科学習資料「かまくら」の印刷・配付、「かまくら子ども風土記」の販売
予算額（千円）	8,646	968	
国県支出金			
地方債			
その他	304	313	
一般財源	8,342	655	0
当初人員配置数	0.6	0.6	0.0
人件費（千円）	4,407	4,562	0
事業実績	「所報かまくら」の制作・配布、小学校社会科学習資料「かまくら」の印刷・配付、「かまくら子ども風土記」の販売		
決算額（千円）	7,794		
国県支出金			
地方債			
その他	133		
一般財源	7,661	0	0
人員配置実績数	0.6	0.0	0.0
人件費（千円）	4,280	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	所報「かまくら教育」配布数	冊	1760	⇒	1,760		
	実績につながる活動	所報を作成し、市内の教育関連及び関連機関に配付した				10		
活2	指標名	小学校社会科学習資料「かまくら」の対象学年児童への配付率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	市内の小学3年生に配付した				865		
活3	指標名	「かまくら子ども風土記」販売数	冊	100	⇒	87		
	実績につながる活動	教育センター、図書館、鎌倉市役所行政資料コーナー、島森書店の4カ所で販売を行なった				21		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・子どもたちが郷土理解を深め、郷土愛を育むための補助教材の提供を維持することができている。 ・広く鎌倉の歴史文化を広めるため「かまくら子ども風土記」を複数カ所で販売しているが、販売目標数にはやや届かなかった。年度ごとの変動はあるため、引き続き、複数カ所での販売を継続する。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う小中学生の割合	%	80	↗	78.2			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果指標（アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.1について、目標値80%に対して78.2%となり、目標は達成できなかった。今後は、より目標達成ができるように、手立てを考えてより良い結果になるよう学校に働きかけていきたい。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・両者を比べてみると、児童生徒に鎌倉についての学習について内容を深め、郷土愛を育む手立てを打つことはできていたと思う。しかし、実際のデータを見るとあまり実績値に反映されていないので、今後はこの実績値が上がるにはどうすればいいのか教育センター内でも考えていきたい。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	児童への教材提供については、配布忘れ、配布漏れ等も特になく例年通り滞りなく行えた。事業の改善点で考えると、「所報かまくら」の原稿のチェックに時間がかかり、学期末にかかってしまうことがあるので、センター所員内で送付された原稿は随時、点検作業を進めていく必要がある。また、鎌倉子ども風土記に関しては、より多く売るために、販促活動の在り方を検討していくことが求められる。			上位施策への寄与度
B					

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		本事業に関しては、他市と比較して数量等変わるものではないので今後の検討課題としては配布媒体を紙にするのかICT関係(SNS、アプリ等)を利用するのかというところを教育センター内で課題として話をしていきたい。							